

## レジ袋を断って

# マイバッグでお買い物

私たちは1年間に1人で300枚のレジ袋を貰っています。日本全体では313億枚。これだけのレジ袋を作るのに使用する石油の量55万8千kは、日本が輸入する原油のほぼ1日分に匹敵します。

レジ袋をごみとして焼却すれば地球温暖化の原因になるCO<sub>2</sub>が発生します。また、容器包装プラスチックとして分別収集すれば、圧縮、保管、運搬などで多大な経費がかかります。


ただでもらっているレジ袋も、実は製造、廃棄で多くの経費がかかっているのです。やはりリデュース(ごみを出さない)が一番大切です。

貴重な資源を節約し、CO<sub>2</sub>を抑制するため、買い物はマイバッグを持って出かけましょう。

男性のかたも、小さく折りたたんだレジ袋をポケットにひとつ入れておけば、仕事帰りのちょっとした買い物も用が足せます。

資源循環型のライフスタイルは「無駄なものはもらわない、家庭に持ち込まない」ことから始まります。

みなさんの御協力をお願いします。



スリーアール  
3 Rとは  
**リデュース (Reduce)**  
できるだけごみを出さない。  
**リユース (Reuse)**  
詰め替え商品を選択し、容器などをくり返し使う。  
**リサイクル (Recycle)**  
ガラス瓶やアルミ缶などを資源として再生し利用する。

愛知県では、県内すべての市町村と、事業者団体、女性団体、消費者団体等127団体でつくる「ごみゼロ社会推進あいち県民会議」の中で、レジ袋削減の県民運動を進めています。スーパーマーケット等の小売店にレジ袋辞退率50%の目標を掲げて取り組んでいただくようお願いしています。

豊明市の皆様もこうした小売店の取組に御理解と御協力をお願いします。



イラストは環境省パンフ「見直そう。身近なことから少しずつ。」から抜粋

豊明市  
愛知県

ごみゼロ社会推進あいち県民会議